



ネットワーク整備の推進 (ミッシングリンクの解消)

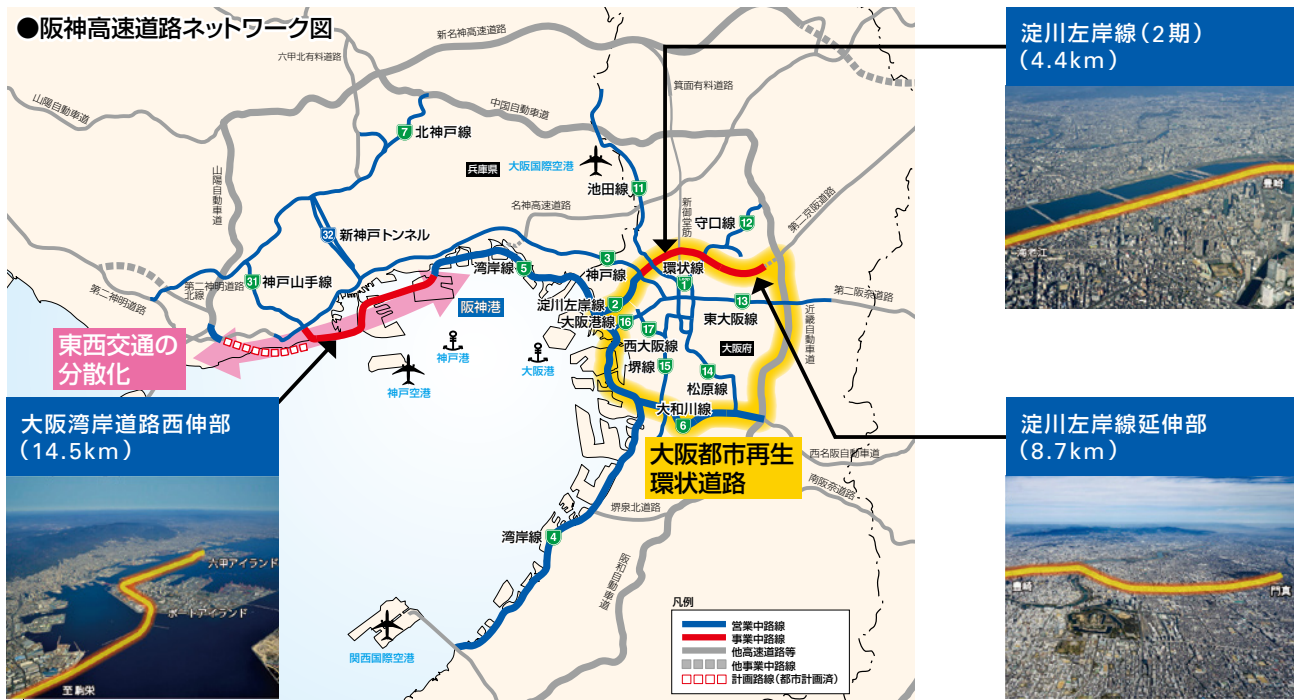
ミッシングリンクとは

ミッシングリンクとは途中で切れている未整備区間のことを指し、阪神高速道路は関西経済を支えるインフラとして、物流や観光に大きな影響を与えるため、早期の解消が求められています。道路ネットワークの整備が進むことで複数の経路を選択できるようになり、都心部の渋滞緩和や、移動時間の短縮などで交通の円滑化が図られ、より快適な走行が可能となります。

ミッシングリンク解消による、暮らしと環境へのメリット

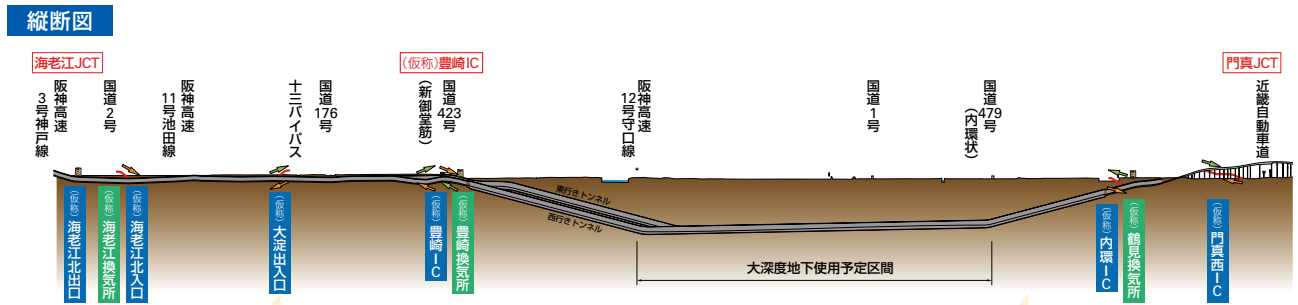
ミッシングリンクの解消により、渋滞緩和や移動時間の短縮、環境負荷の軽減など、お客さまの暮らしにさまざまなメリットをもたらします。また、関西経済の活性化や、災害に強いまちづくりにも貢献します。

- 都心部などへ集中する交通負荷の軽減、移動時間の短縮
- 自動車交通の円滑化によるCO₂排出量の削減
- 事故や災害時の代替路を確保し、交通規制によるお客さまの負担を軽減
- 新たな物流・観光ルートの整備で地域の活性化



「大阪都市再生環状道路」の完成を目指して

「大阪都市再生環状道路」の北側の一部を構成する道路として、国や大阪市との共同事業が進められています。都市部での事業であること、大深度地下シールドトンネル区間も含まれることなど、高い技術力を要する事業に挑んでいます。



淀川左岸線(2期)

- ▶ 開通済みの淀川左岸線(1期)と3号神戸線との接続部である海老江ジャンクションから、豊崎(国道423号(新御堂筋))までの4.4kmを結ぶ路線。
- ▶ 本路線の大部分は開削トンネル構造で、河川堤防との一体構造となる計画です。共同事業者である大阪市と事業を進めています。
- ▶ 大阪・関西万博時のアクセスルートとしての活用を目指しています。
- ▶ 大阪市より阪神高速が受託した海老江地区および豊崎地区の工事(開削トンネル・橋梁・換気所)については、現在、開削トンネルの函体工、橋梁の橋脚工および架設工などを実施しています。



橋梁架設工(海老江地区)

淀川左岸線延伸部

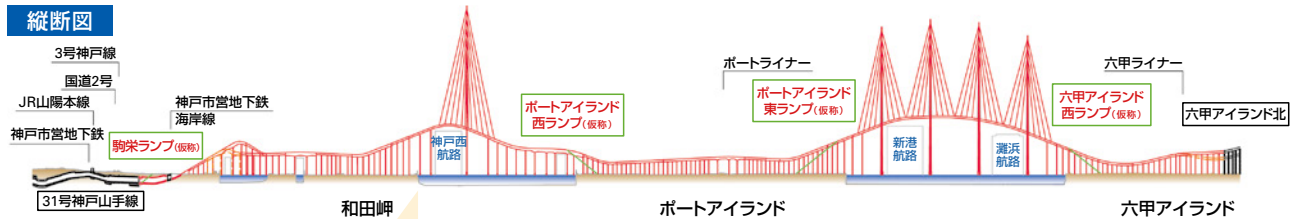
- ▶ 近畿自動車道の門真ジャンクションから、淀川左岸線(2期)の豊崎までの8.7kmを結ぶ路線。
- ▶ 本路線の大部分は開削トンネル工法およびシールドトンネル工法によるトンネル構造。淀川左岸線(2期)と同様に、一部区間で河川堤防と一体構造となる計画です。共同事業者である国、NEXCO西日本と事業を進めています。
- ▶ 現在、阪神高速において、トンネルおよびシールド立坑などの設計検討、堤防・道路一体構造の安全性などの検討を実施しています。また、本体工事着手に向けて地中障害物撤去工事などを実施しています。



地中障害物撤去工事(豊崎地区)

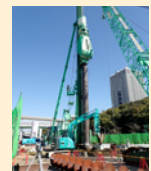
「大阪湾岸道路西伸部」では新ランドマークとなる長大橋の架設

神戸の新たなランドマークになることが期待される2つの「長大橋」の架設について、さまざまな技術的課題などへ対応していくため、有識者委員会での審議も踏まえ、鋭意検討を進めており、「災害時の道路機能確保」「景観性」および「維持管理性」などの観点から、橋梁形式が選定されました。さらなる事業推進に向け、耐震・耐風・景観などを考慮した設計検討を実施しています。



大阪湾岸道路西伸部

- ▶ 大阪湾岸道路の一部を構成し、供用中の5号湾岸線の六甲アイランド端末部から、ポートアイランド、和田岬を経由し、駒栄地区で供用中の31号神戸山手線へ接続する14.5kmの路線。
- ▶ 本路線は、六甲アイランドからポートアイランド間、ポートアイランドから和田岬間で、国際航路を跨ぐ形で長大橋を架設する計画です。共同事業者である国と事業を進めています。
- ▶ 現在、阪神高速では神戸山手線との接続部付近において開削トンネルの函体工を、また、六甲アイランド地区では橋梁本体の基礎工などの工事を実施しています。



基礎工
(六甲アイランド地区)

PICK UP!

お客さま・地域とのコミュニケーション

工事への理解と建設事業への親しみやすさを促進することを目的として、地域の方へ向けた現場見学会や地域のイベントでのPRを行っています。淀川左岸線では、現場の周辺の地域にお住まいの方を対象に現場見学会を行いました。大阪湾岸道路西伸部では、共同事業者である国土交通省と連携して模型、パネルなどを展示するイベントなどを実施しています。ほかにも、地域との交流に重きを置いて数多くの事業PRを行っています。

VOICE

「安全・安心なまちづくり」のために、
阪神高速が目指すゴール

道路ネットワーク拡充は、複数の経路選択を可能とし、移動時間の短縮や都心部の交通集中の軽減に加え、事故・災害時および大規模更新工事や大規模修繕工事に伴う交通規制の際の代替路としての機能も期待されます。お客さまの利便性・快適性の向上に加え、最高の安全・安心を提供するという阪神高速が目指すありたい姿の実現のため、リダンダンシーの確保は必要不可欠です。一日でも早いミッシングリンク解消を目指し、建設事業に取り組んでまいります。



建設企画部企画課
福岡 純一